

令和7年第12回

幸手市教育委員会定例会会議録

| | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------------------|----|------------------|--------|------|
| 招集期日 | | 令和7年12月16日(火)午前9時30分 | | | | |
| 開会場所 | | 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室 | | | | |
| 開会の日時・宣告者 | | 令和7年12月16日(火)午前9時30分 | | | | 山西 実 |
| 閉会の日時・宣告者 | | 令和7年12月16日(火)午前11時40分 | | | | 山西 実 |
| 出席状況 | 職名 | 氏名 | 摘要 | 職名 | 氏名 | 摘要 |
| | 教育長 | 山西 実 | 出席 | 教育委員 | 藤沼 寛次 | 出席 |
| | 職務代理者 | 会田 研司 | 出席 | 教育委員 | 古沢 万友実 | 出席 |
| | 教育委員 | 高島 勝也 | 出席 | 教育委員 | 林 晴 実 | 出席 |
| 傍聴人: 0人 | | | | 書記: 佐々木 千晶・坂本 康太 | | |
| 議事参考者 | 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 | | |
| | 教育部長 | 仙田 茂雄 | | | | |
| | 教育総務課長 | 大竹 孝典 | | | | |
| | 学校教育課課長 | 中沢 朋宏 | | | | |
| | 社会教育課課長 | 小山 紀子 | | | | |
| | 社会教育課主席主幹 | 原 太平 | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 会議事件名 | 顛 末 |
|--|---|
| 開　　会 午前 9 時 30 分 | 教育長 開会を宣する。 |
| 日程第 1 前回会議録の承認 | 教育長 令和 7 年度第 1 回総合教育会議及び令和 7 年第 11 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 『質疑』 質疑なし。 『承認』 全員異議なく承認。 |
| 日程第 2 協議事項 生命（いのち）の安全教育について | 学校教育課長 資料により説明する。 教育部長 昨年度、四本議員から生命（いのち）の安全教育に関する一般質問をいただいたのをきっかけに、教育委員会として令和 7 年度の教育行政重点施策に掲げて取り組んでいることから、本日の協議事項とした。 『質疑』 藤沼委員 今年、神戸で女性が殺人事件に巻き込まれた。親による暴力や、学校教師による盗撮など、様々な事件があり、予防という意味での啓発活動が大事だと考える。 予防する一つの方法は、自分で自分を守ることと、もう一つは、周りの人が勇気をもって被害者を守る体制を整えられるのかが大切である。学校現場で言えば、相談窓口を設置する等の体制を整えることが必要であると考える。 また、深堀りできる手作りの性教育教材を、議論の上で作成することで、より身近な教材ができると考える。 古沢委員 子どもたちが学校で受けた生命（いのち）の安全教育で、「自分の大切なところは家族にも触らせてはいけない」と習った。これをきっかけに、包括的性教育について |

興味を持ち、包括的性教育の講座に参加した。明るい雰囲気でタブーとして性を扱うのではなく、フラットに命が生まれる仕組みや心と体の話を大人が構えずに淡々と伝えていくことで、子どもたちに適切に伝わると感じた。

子どもたちが、自分が生まれてくるまでの過程を知ることで、自分の存在の大切さを改めて気付くことができた様子であった。

生命（いのち）の安全教育は、性教育という知識の教育だけでなく人権教育という一面もある。相手を尊重し、困ったら助けを求める場所があることを知ることが、子どもたちが安心して生きていく力になると感じた。

学校の授業で、専門的な知識を有する講師から継続して性教育の知識を定着させることで、子どもたちが相手を尊重する感覚や、安心して相談できる環境を知っていてもらいたい。

望まない妊娠や、性感染症にかかってしまったときに、誰にも相談できない状況にならないよう、性のポジティブ・ネガティブの両面も教えられるような、包括的に指導してくれる専門家の授業を取り入れてもらいたい。

林委員

自分の体に尊厳を持ち、それを守る力を育てる。また、他人の体を大切にする心を育てる教育が素晴らしい取組であると感じた。このような教育で、危険から身を守る力、被害に気付く力につながれば良いと思った。

また、実際に嫌だと言って良い、困ったら相談して良いと実感できているかが大切である。子どもたち一人一人が相談できる相手を具体的にイメージできているかどうかや、相談行動につながる指導が確実に行われているか、学校は継続的に確認を行ってもらいたい。

高島委員

性に関する指導は、専門性もあり教員が教育するには難しい内容でもあることから、地域の力を借りたり、外部講師に協力してもらうと良い。性教育もそうだが、SNSも教員が教えるのは難しい分野である。いずれも、いろいろな教材があるが模範的な動画等が多く、子どもたちの体験談等を踏まえたディスカッションで理解を深めていくと良いと考える。

若い世代の教員は、子どもたちの人間関係をどうやつ

て作っていくかを考えることが難しくなってきている。若い教員が、子どもたちが失敗しながら学んでいく動きをどうやって見届けるかが大きな課題である。

会田職務代理者

相手が嫌がることをしないということが全ての教育活動の基本的な考え方で、自分の命や周囲の人の命を大切にする教育は以前から変わっていない。ストーカーやDVの事件等も増えており、性的なものを特化して取り上げていかなければいけない時代になったと感じた。また、防災教育やがん教育等もありバランスを考えて計画的に進めていかなければならぬと感じた。

全ての教科の中で、生命（いのち）の教育は伝えていくことができる内容ではないかと考えるので、自分が専門の教科を教える中で、男女のあり方を教えていきながら、生命（いのち）の安全教育につながるエピソードを盛り込んでいければ、より深い学びが得られると考える。

高島委員

一番大事なのは、性に関する相談を相談できる、信頼のにおける教職員がいて、悩みを共有できることの大切だと感じた。

教育長

性の教育は、人としての尊厳をどう守るかということであり、学校の教育活動の根幹にあたる部分であるので、学校の教科の中でも触れていかなければならぬ内容である。男女の在り方の社会の常識は、時代に応じて変わっている、そのようなことに触れながら教育を行い尊厳について考えていくことを大事にしていく必要がある。人間の生き方教育の一環として、生命（いのち）の安全教育を重要な問題として根幹に据えていきたい。

問題が発生したときにどうするのか。被害者を見たときに傍観者にならないように、相談体制が整っているか、信頼できる教師が相談を受けることができるのかが大切になってくる。

指導にあたっては、明るい雰囲気の中で真摯に向き合っていく教師の姿勢が重要であり、助産師等の専門的な立場で指導してくれる外部の講師を活用する必要もある。

学校で取り組まないといけない教育が多い中で、何を

| | |
|---|---|
| | <p>優先するのかを適切に考えていいかないと云々。また、子どもの安心・安全を作っていく中で、失敗をする経験が少なくなっているが、安心・安全な教育の中でできるトライ&エラーとは何なのかを考えながら進めていけると良い。</p> <p>このような意見を学校教育に生かしていっていただきたい。</p> |
| <p>日程第3</p> <p>議案第29号 幸手市文化財保護審議会への諮問について</p> | <p>社会教育課長 資料により説明する。</p> <p>原主席主幹 資料により説明する。</p> <p>『質疑』 会田職務代理者 市内に「絵馬屋」という名前の玩具屋があり、名前の所以を知らなかったが、本日の説明を聞いて、小さいころから疑問に感じていたことが理解できて良かった。</p> <p>原主席主幹 絵馬が作られた意味が解るこれだけのものが現存することもあまりない。1月に審議会を予定しており、年度末までに答申ができるのではないかと考える。</p> <p>『承認』 全員異議なく原案どおり議決。</p> |
| <p>日程第4</p> <p>行政報告</p> <p>1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの主要な報告</p> | <p>教育長 1 各種教育長会議等 2 第4回幸手市議会関係 3 講演等</p> <p>教育部長 令和7年第4回幸手市議会定例会一般質問（教委担当部分）の趣旨</p> <p>教育総務課長 1 学校再編について</p> <p>学校教育課長 1 令和7年度 表彰関係</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>2 令和8年度埼玉県公立小・中学校管理職選考結果について 3 幸手市小学校ロードレース大会 4 幸手市立小・中学校 学校評価について 5 令和8年度学力・学習状況等調査等の実施について 6 令和8年度当初教職員人事事務の予定 7 今後の行事予定 8 令和7年度 卒業証書授与式の日程</p> <p>社会教育課長</p> <p>1 幸手市文化祭実行委員会 2 幸手市青少年育成推進員協議会研修会 3 非行防止啓発街頭キャンペーン及び非行防止パトロール（幸手市青少年育成推進員） 4 令和8年幸手市二十歳を祝う会</p> <p>社会教育課長（公民館）</p> <p>1 利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（郷土資料館）</p> <p>1 報告事項 2 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（図書館）</p> <p>1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊）</p> <p>社会教育課長（体育施設）</p> <p>1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業</p> <p>について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>藤沼委員</p> <p>質問が2点ある。1点目は、文化祭は盛会に終了したと感じているが、反省があれば伺う。</p> <p>2点目は、公民館の使用料の値上げについて、前年度の議会で否決されたかと思うが、その後の進捗があれば伺う。</p> |
|--|---|

| | |
|--------------------|--|
| <p>日程第5</p> | <p>社会教育課長 1点目だが、基本的には良い意見が多かったが、いくつか細かい改善点を挙げてくれた意見もあり、今後の運営に生かしていきたい。</p> <p>教育部長 2点目の公民館の使用料についてだが、現状は白紙の状況である。議会に上程した時に、説明不足という部分があったかと考える。上水や下水道使用料は、議会に上程する際に議員に説明したうえで審議している。現在は否決されてしまったので、すぐに議案とするのは難しいと考える。</p> <p>藤沼委員 物価の高騰が激しいので、少しでも使用料を上げられるよう努めてほしい。</p> <p>教育部長 現在も修繕費が足りないが使用料だけで補填できないため、税金で補っている状況もあるので、受益者負担の観点から利用者に使用料として負担してもらえるようにしていきたい。</p> <p>高島委員 学校跡地利用のアンケート調査のうち、子育て世代や若い世代の回答が少なかった。子育て世代以外の回答が8割となっており、全世代の意見を反映できるよう、工夫をしていかないといけないと考える。</p> <p>教育部長 跡地利用については、総合政策部の所管事務である。現状では、学校跡地利用の説明会を開催して市民等から意見をもらったところで、これから検討していく状況であり、具体的な利用方法の提案にまでは至っていない。</p> <p>会田職務代理者 一般質問で、交通事故から児童・生徒を守るための取組について質問があったが、日ごろから横断歩道のペイントが薄い道路が多く、学校周辺の通学路だけでも早期に整備してほしいと考えている。事故が起きる前に早めに対応してほしい。</p> |
|--------------------|--|

| | |
|------------------------|--|
| その他 | 各委員の意見を調整した結果、1月の会議について、次のとおり決定する。 |
| 1 次回以降の会議日程 | 令和8年第1回教育委員会定例会 日時 令和8年1月20日（火） 午前9時30分 会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室 |
| 2 次回の協議事項 | 教育総務課長 協議の結果、「幸手市の未来について」を議題とする。 |
| 3 その他 | なし。 |
| 閉 会 午前11時40分 | 教育長 閉会を宣す。 |

| | |
|------------------|--|
| 他特に重要な と認める事項 | なし |
| | <p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、こ こに署名する。</p> <p>令和 8年 1月20日</p> <p>教育長 山西 実</p> <p>署名</p> <p>署名委員 古沢 万友実</p> |